

# かしわ

## 平成 28 年を振り返って — 漢字 一文字 で表すと —

校長 北村 耕一

早いもので平成 28 年も残すところ 1 か月弱となりました。町中には年末の慌ただしさが少しずつですが漂い始めています。皆様のご家庭でも大掃除や新年を迎える準備の計画を立て始めている頃ではないでしょうか。

平成 28 年を振り返ってみると、4 月の熊本大地震、夏の連続台風の上陸、10 月の熊本県阿蘇山の噴火、同じく 10 月の鳥取県の地震と自然災害が多かったことが記憶に残っています。被害に遭われた皆様には心よりお悔やみ申し上げますとともに、地域の復興が少しでも早く行われることを祈念します。

本校では、幸いなことに、子ども・保護者・教職員・関係する皆様で自然災害に巻き込まれたという方はいませんでした。しかし、自然災害はいつ生じるかわかりません。担当者を中心に日頃より訓練等を通して、「想定外」という言葉を使用しないように教職員一同で備えたいと思っています。

ここまでの内容で考えると、今年を漢字一文字で表すと「災」になるのかなと思います。

しかし、今年はスポーツを通して多くの感動も得られた年でもありました。

夏季のリオのオリンピック・パラリンピックや個人的嗜好で申し訳ないのですが、日本のプロ野球、大リーグでのイチー選手の記録等を記憶されている方も多いのではないのでしょうか。

そうした多くのスポーツ関係の事柄から、今回、お話を 1 つ紹介したいと思います。

それは、女子重量挙げでリオオリンピックで銅メダルを獲得した



### No. 12 平成28年12月 2日 皇帝陛下の花

三宅宏美選手のお話です。

三宅選手は 2004 年アテネ五輪、2008 年北京五輪、2012 年ロンドン五輪、2016 年リオデジャネイロ五輪と 4 大会連続で出場し、ロンドンで銀メダル、リオで銅メダルを獲得しています。

2008 年の北京五輪でメダルを獲得できなかった時に「自分を知らないと思てない」と思ったそうです。そして、自分と向き合う必要性を感じ、自己分析の努力を行い、言葉を学んで自分を磨きたいと思い、読書に目覚めたそうです。



三宅選手は 20 歳代の半ばまでほとんど読書をしていなかったそうですが、北京五輪後から読書にのめり込む時間が好きになり、変わったそうです。

三宅選手は「本当に変わりたいと思ったときこそ、力が出る」と話しています。

ロンドン、リオの 2 大会連続の成果は、そうした努力と読書の成果なのだと私は思いました。

スポーツの世界には勝ち負けがあります。しかし、結果が全てではないと思います。その結果に至るまでの過程において、どのような取り組みを行ってきたかが、その後の人生に生きるのではないのでしょうか。また、プロ・アマ、社会人・学生を問わず、多くの選手が取り組み過程で個々の能力に応じて努力しているのだと思います。

そう考えると、今年を漢字一文字で表すと「努」になるのかなとも思います。

平成 29 年は「努」めて「災」の字が「『災』い転じて『福』となす」に諺どおりになればよいと思います。

皆様は平成 28 年を振り返って、どのような漢字を思い浮かべますか。

## 中学部 鎌倉校外学習

教諭 宮前 こずえ

11月2日(水) 中学部1年生は総合的学習の時間の一環として、鎌倉に行ってきました。教科書に載っていない、地元ならではの貴重なお話が沢山聞けました。

高德院の大仏は最初は木造だったが、壊れ、青銅で造ることにした。でも鎌倉時代、日本では銅は取れない。さて、どうやって銅を入手したか？中国の銅銭の実物を見せてもらえました。

また、露座の大仏に大仏殿を作ってあげたりと、生徒に考えさせ、生徒の心を揺さぶる話が盛りだくさんでした。



手話『新しい』の語源となった新田義貞の黄金の太刀伝説がある『稲村ガ崎』にも行きました。

稲村ガ崎の砂浜は黒い。そこで実際に磁石を砂に近づけると、砂がくっつく！ここ稲村ガ崎は昔から鉄が取れるところで有名だそうです。今でも刀を作っているそうです。刀工『正宗』の墓にも行ってきました。

『和歌江嶋』にも行き、遙かな鎌倉時代に思いを馳せしてきました。



風は冷たく、寒い一日だったのですが、歴史の話がとても面白くて、生徒の歴史好きがもっと深まったと思います。

## 幼稚部

### みかん狩りを楽しみました！

教諭 最上 裕美

11月8日(火) 秋晴れのもとに、幼稚部は津久井浜のみかん園にみかん狩りに行きました。

隊長の「しゅっぱーつ」の号令でみかん園を目指し出発しました。みかん園まで広がっている畑に「きゃべつ、あったー」「ぶろっこりー、あったー」「なんのはっぱかなあ」と、しおりを見ながら畑の野菜を確認しました。鳥、ねこ、虫……等いろいろなものを見つけて

は、「見て見て」とお互いに指し示したり のぞき込みながら、小さな発見にワクワクの道々でした。

あんまり楽しみながら歩いていたので、みかん園到着にだいぶ時間がかかりましたが、みかん畑に目を輝かせ「あったー！」と大喜び。そして「くるくるきゅっ！」と言いながら、練習通り枝を傷めないように 上手にみかんを回して採りました。「あまいねー」「おいしいねー」みかんをたくさん食べても、お母さんの作ってくれたお弁当は、おいしくて うれしくて ニッコ パクパク入ります。お弁当の後もまたみかんを食べ、名残惜しみながら、帰途につきました。たくさん歩きましたが、秋の空の下もぎたてのみかんをたくさん食べ、笑顔いっぱい元気いっぱいの校外活動でした。



## 幼稚部

### 衣笠商店街へ行ってきました！

教諭 鈴木 由枝

12月6日の幼稚部行事「おみせやさんごっこ」の事前学習として、幼3の子ども達と衣笠商店街へ見学に行ってきました。欲しい物が一軒の買い物で済んでしまうスーパーマーケットとは違い、お店によって違う看板、品揃えと並べ方、お客さんとのやり取りや、威勢の良い声など、子ども達はその雰囲気にはじめは圧倒されていたようでした。



出発前にお母さんからお使いを頼まれ、目的のお店で無事にお買い物を済ませることができました。

開店直後のお忙しい時間帯にもかかわらず、どのお店でも快く子ども達を迎えてくださいました。地域の皆さんの、子ども達に対するご理解とご協力に感謝したいと思います。ありがとうございました。

★ 11/2の小学部秋の遠足の報告は、かしわ13号に掲載します。



